

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスたいじゅの花
------	------------------

公表日 令和 8 年 2 月 1 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	長机を増やすことで学習スペースを確保しています。	利用人数や活動量によっては狭いと感じることがある。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	・絵カードや写真などを使い、見やすい位置に表記し視覚化を行っています。 ・家具等の模様替えをした際には安心して過ごせるように一つ一つ丁寧に児童に説明しています。	・室内は段差はなく、バリアフリーになっていますが、トイレ介助時などには個室が狭くパーテーションなどが必要と考える。 ・玄関のあがり口が高いと感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日、掃除・除菌を行っています。除菌水を使用した加湿器で、感染症予防にも努めています。	活動内容に対し空間が狭く感じられるため、環境面の工夫や改善が必要である。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
※	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	日常の申し込みやケース検討を通して、目標や振り返りを意識した意見交換を行うよう努めている。	PDCAサイクルに基づく目標設定や振り返りが十分に全職員へ共有されておらず、参画の機会が限られたことになっている。業務改善への全職員の時間確保・体制づくりが今後の課題である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者の皆様には評価表をお配りし、ご意見をいただいている。そのご意見やご要望を基に、ご利用児童や保護者の皆様に寄り添った支援につなげています。	職員間での共有や振り返りをさらに充実させ、より計画的に業務改善へ反映できるよう工夫していく必要がある。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の申し送りの中で職員の意見や気づきを把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげる工夫をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	各研修等に参加し、より良い支援が行えるよう努めています。また、外部の研修にも積極的に参加するようにしています。	外部研修や法人内研修への参加機会はあるものの、職員全体への周知や参加の偏りが生じないような体制づくりが必要である。
適応行動	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	専門支援員を含む支援に関わる職員と情報共有を行い、共通理解のもと計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	それぞれの専門性や得意分野を活かし、活動内容を提案・実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	定期的に職員間で情報共有を行い、同じ内容が続かないよう見直し・工夫をしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	支援開始前に職員間で打合せを行い、支援内容や役割分担を確認し、連携した支援を行っている。	短時間でも要点を確認できるよう、打合せ内容を簡潔化し、効率的な情報共有を行う必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		支援終了後に、十分な振り返り時間を確保できていないため、今後は短時間でも職員間で情報共有を行えるよう時間確保が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	基本活動を組み合わせ、活動が偏らないよう支援内容を工夫している。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	選択肢を提示し、子どもが自分で選ぶ経験を積めるよう支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	支援内容や配慮事項、子どもの特性等を整理し、関係機関へ分かりやすく情報提供している。 また、必要に応じて会議等に参加し、円滑な移行につながるよう連携を図っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		事前の打ち合わせや役割分担が十分でないことがあるため、連携先との事前調整や振り返りの仕組みを整える必要がある。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2		保護者が参加しやすい形や規模を検討し、交流の場を設けることについて取り組んでいく必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		ヒヤリハットの重要性について職員間で共通理解を図り、報告しやすい環境づくりを行う必要がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		